

Operating manual

# Viper nt



**100V Ver.**

PROVIDE CO.,LTD.

## セット内容

VIPER nt 本体	1
クイックコネクタ付きタンクリッド	1
マニュアル	1

上記の商品が揃っているか確認してください。

## 目次

1. はじめに	4
2. 安全にお使いいただくために	5
3. 各部の名称	6
4. 専用液	8
4.1 注意事項	
4.2 液ボトルの交換	
5. 操作方法	8
5.1 使用場所	
5.2 操作方法	
5.3 コントロール・メニュー	
5.3.1 DMX 512 信号でのコントロール	
5.3.1.1 DMX スタートアドレスの設定	
5.3.2 アナログ 0 - 10 V でのコントロール	
5.3.3 スタンドアロンモード	
5.3.4 ワイヤレスリモート	
5.4 タイマー機能の操作	
5.4.1 自動スタート	
5.5 コネクタの仕様	
5.6 電源を切るには	
6. メンテナンスとお手入れ方法	14
7. トラブルシューティング	15
8. 仕様	16
9. 保証内容	17

## 1. はじめに

Viper nt スモークマシンは、継続的に開発された VIPER スモークマシンの改良版です。

このマシンは、最先端のデジタル技術と熟練した技術の融合により完成しました。

新機能により、操作はより簡単に、そしてセッティングは短時間になりました。

## 2. 安全にお使いいただくために

スモークマシンはおもちゃではありません！

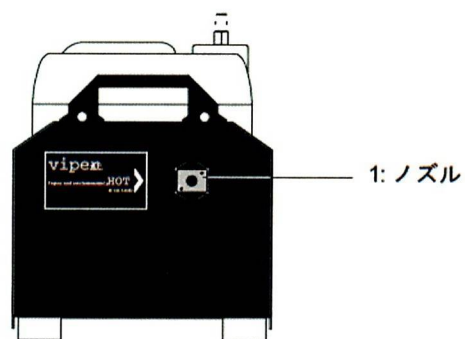
- ・ノズルからは、高温の煙が出ますので、火傷に注意して操作を行ってください。
- ・操作中に高温の液が噴く事もありますので、直接ノズルと向き合わない様に注意し、操作する人とノズルの距離は3m以上確保してください。
- ・機材は、周囲が不燃性で機材の2倍の面積を確保出来る場所に設置してください。
- ・可燃性の物からは、必ず60cm以上離してください。
- ・グリコール液は、アルコール成分なので発火すると青い炎になる為、肉眼では確認しにくい特徴をもっているため、炎や煙火の方向へノズルを向けないでください。
- ・電源に接続している時には絶対に機材を分解しないでください。
- ・人がいる室内でスモークを使用する場合は、視界が2m以上確保出来る様、換気に注意してください。
- ・専用液を間違えて飲み込まない事、子供がさわらないように注意してください。もし、目に入った時には流水で洗い、飲み込んだ時には医師に相談してください。
- ・煙探知機が作動してしまう可能性があります。
- ・人工スモークは、様々な方法で作る事が出来ますが、このマシンは雾化器で煙を作り出す最も害のない方法で行われています。これまで当社のスモークマシンを使用して病気になるケースは報告されていません。しかし、これはスモークマシンが正しい使用方法で、指定の液を使用した場合でのことです。

人工のフォグは様々な方法で作出す事が可能です。ここでフォグを作り出す為に使用される方法は、雾化器の原理に従って作動する装置で、体に最も無害なものです。弊社のマシンを使用した事による人体への害は報告されていません。しかし、これは適切にプロフェッショナルフォグ発生器が使用された場合に限り保証されます。(例えば：適正の雾化温度と適量に混ぜられた液)

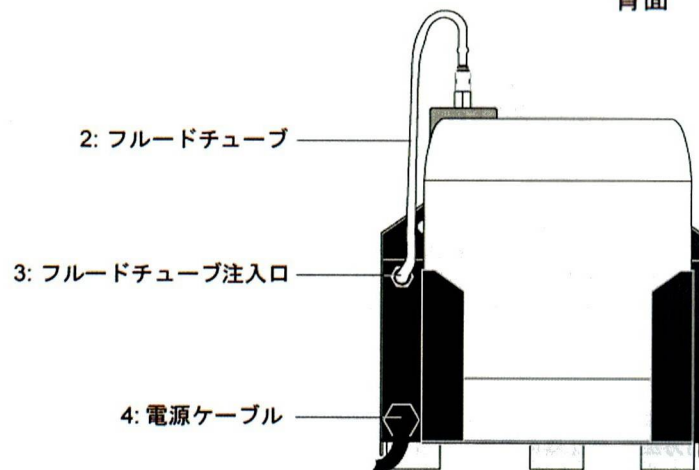
お願い：呼吸器官に障害のある方や、アレルギー体質の方は煙との接触を避けて下さい。

### 3. 各部の名称

前面



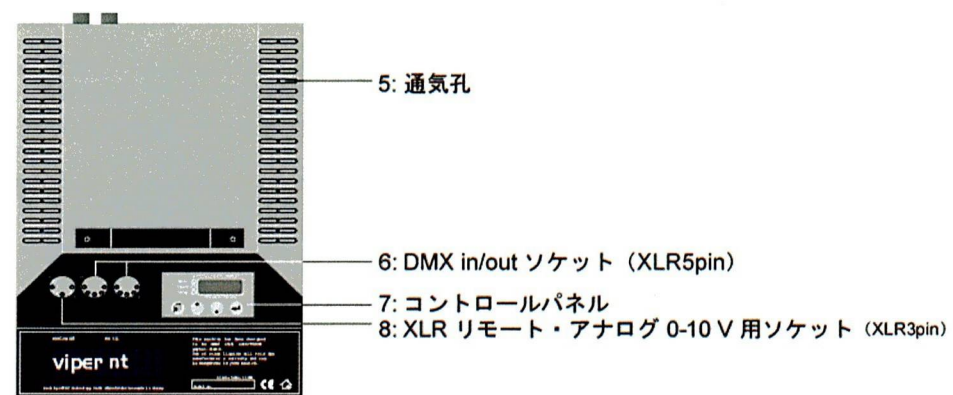
背面



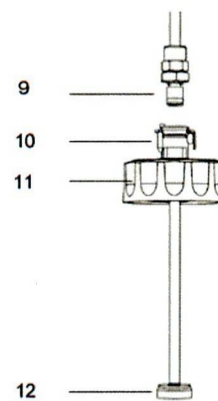
6

### 3. 各部の名称

VIPER NT 上部



タンクリッド



- 9 : プラスチックカップリング
- 10 : プラスチックカラー
- 11 : タンクリッド
- 12 : フルードフィルター

7

## 4. 専用液

### 4.1 注意事項

Viper ntには、専用液以外は使用しないで下さい。

フォグ専用液：

- Quick-Fog ⇒ 早く消えるタイプ
- Regular-Fog ⇒ スタンダードタイプ
- Slow-Fog ⇒ 長く持続するタイプ

指定外の専用液を使用した場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

注意：マシンの雾化器はクリーニングの必要はありません。市販のクリーナーの使用は雾化器に損傷を与えます！その場合は、保証の対象外です。

### 4.2 液ボトルの交換

- タンクリッドを取り外すには、プラスチックカラー⑩を押して、プラスチックカップリング⑨を取り外します。
- 空のボトルをハウジングから取り外します。
- 空のボトルからタンクリッド⑪を外して、新しいボトルに取り付けます。
- 新しいボトルを、ハウジングへ設置します。
- カチッと音がするまでカップリング⑨をカラー⑩へ押込みます。これでプラスチックカラー⑩はしっかりとロックされます。

## 5. 操作方法

### 5.1 使用場所

Viper ntを使用する際は、下記条件をクリアする場所で行ってください。

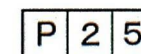
- 乾燥していること
- ホコリがないこと
- 振動がないこと
- 不燃性の場所であること
- 換気が出来て新鮮な空気が入り入れられる場所で、周囲の温度が5℃～45℃で湿度が80%以下の条件であること。

## 5. 操作方法

Viper ntはパワフルスモークマシンで、フォグの発煙量を少量から大量まで、自在に操作する事が出来ます。デジタルテクノロジーにより、ポンプの制御を1%単位で1～99%までコントロールする事が出来ます。

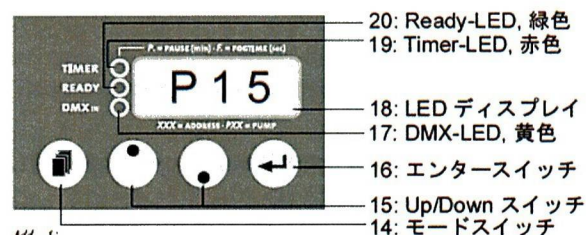
### 5.2 操作方法

- a. 電源ケーブルをコンセントにつなぎ、正しい電圧を入力すると(100～120V・50/60Hz) "P" と2つの数字が表示されます。

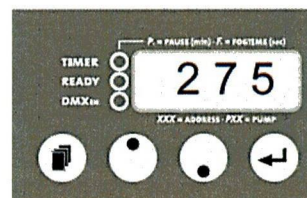


- b. マシンのウォームアップは約7分かかります。緑色のREADY-LEDランプ⑳が点滅すれば操作が出来る合図です。最終的な温度に到達するとLED㉑は点灯したままになります。
- c. コントロールパネルで必要な発煙量を設定し、エンタースイッチ⑯を押すと発煙を開始します(5.4参照)。もう一度エンタースイッチを押すと発煙が止まります。

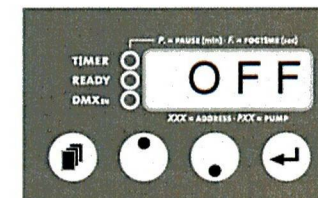
コントロールパネル(スタンダードメニュー)



Add. 1:  
噴出量の設定画面例



Add. 2:  
DMXスタートアドレスの設定画面例



Add. 3:  
本体の電源を切る時の画面例

## 5. 操作方法

### 5.3 コントロールメニュー

注意：モードスイッチ⑭を使用するとメニューのスクロールが出来なくなります。その際はモードスイッチ⑭を1回押します。スイッチ⑭をそのまま2秒以上押したままにすると、タイマーモードに切り替わります。(5.5参照)

#### 5.3.1 DMX512 信号でのコントロール

DMX 操作卓に Viper nt を接続するには、5 pin XLR ソケット⑥にケーブルを接続してください。正しい DMX 信号であれば、黄色の DMX-LED ⑰が点灯します。

##### 5.3.1.1 DMX スタートアドレスの設定

- コントロールパネルのモードスイッチ⑭を押して、3つの数字をディスプレイに表示させます。
- Up/Down スイッチ⑮でスタートアドレスを設定します。
- エンタースイッチ⑯を1回押すと設定したアドレスが記憶されます。その記憶されたアドレスは電源を切っても保存されます。

#### 5.3.2 アナログ 0 - 10V コントロール

Viper nt の XLR ソケット⑧にアナログ信号出力の操作卓か、ケーブルを使用して XLR リモートを接続してください。

- 操作卓からのケーブルか、XLR リモートのケーブルを XLR ソケット⑧に差し込んでください。
- 操作卓のフェーダーもしくは、XLR リモートのボリュームつまみで発煙量のレベルを調節します。
- XLR リモートの ON/OFF スイッチは、煙の出力スイッチです。ON にすると緑色にディスプレイ⑱が点灯します。

## 5. 操作方法

### 5.3.3 スタンドアロンモード

XLR リモート無しで、本体のみで発煙するモードです。本体でポンプのコントロールを行います。

- ディスプレイ⑱に "P" と2つの数字が表示されるまでモードスイッチ⑭を押します。
- Up/Down スイッチ⑮で発煙量を設定し、エンタースイッチ⑯を1度押せば発煙を開始します。エンタースイッチ⑯をもう1度押すと、発煙は停止します。発煙中でも発煙量の調整は可能です。

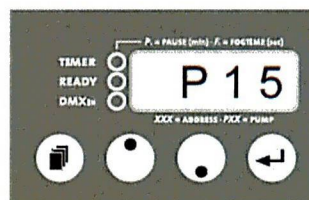
注意：DMX512 信号で操作する際には、アナログ 0 ~ 10V、スタンドアロンモードより DMX 信号が優先されます。

#### 5.3.4 ワイヤレスリモートでの操作

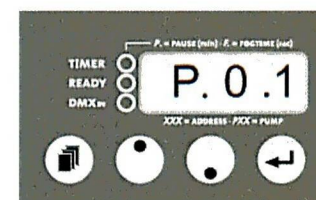
ワイヤレスリモートはオプションでご購入頂けます。(3pin XLR プラグ付き)

ワイヤレスリモートの受信機をマシン後ろの 3pin XLR リモートソケット⑨に接続します。マシン側で発煙量を設定します (5.4.3 参照)。マシンは、ワイヤレスリモートの1番上のボタン1を押している間発煙し続けます ("Radio remote" のマニュアル参照)。

コントロールパネル・タイマーメニュー (Timer-LED ⑱赤色)

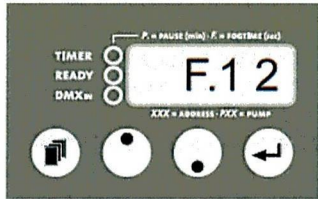


発煙量の設定パネル例  
設定可能範囲：1 ~ 99%



停止時間の設定パネル例  
設定可能範囲：0.1 ~ 99分

## 5. 操作方法



発煙時間の設定パネル例  
設定可能範囲：1～99秒



メニューに戻るには、この画面でエンタースイッチ⑯を押します。

### 5.4 タイマー機能の操作

タイマー機能で発煙時間と発煙停止時間、発煙量の3つの設定が出来ます。TIMER モードをスタートさせるには、モードスイッチ⑭を2秒以上押します。TIMER モードに切り替わると赤色の TIMER-LED ⑲が点滅します。

発煙量・発煙時間・停止時間の設定は、標準のモードの設定と同じです。設定したい項目が出るまでモードスイッチ⑭を押します。

Up/Down スイッチで、発煙量 (P.00)・発煙時間 (F.00)・停止時間 (P.00) の設定が出来ます。設定後、エンタースイッチ⑯を押すとタイマーが始動します。

タイマーのスタートする順番は、最後に設定した項目で決まります。たとえば、(P.00) なら、停止時間からのスタート、(F.00) なら発煙時間からのスタートとなります。

メニューに戻るには、モードスイッチ⑭を2秒以上押すか、TIMER モードで“ESC”を選んでエンタースイッチ⑯を押します。

#### 5.4.1 オートスタート

タイマーモードで使用中に電源ケーブルを抜いてしまった場合、すぐに Viper nt を電源に再接続するとタイマーモードで再起動します。再起動を中止するにはモードスイッチを2秒以上押すか、TIMER モードで ESC を選んでエンタースイッチ⑯を押します。

## 5. 操作方法

### 5.5 コネクタの仕様

5pin XLR (DMX)

▲ Pin 1 = Gnd ▲ Pin 2 = DATA- ▲ Pin 3 = DATA +

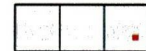
3pin XLR (アナログ)

▲ Pin 1 = Gnd ▲ Pin 2 = 0-10V ▲ Pin 3 = DC+12V OUT max.50mA

### 5.6 電源を切るには

- ディスプレイに“OFF”が表示されるまでモードスイッチ⑭を押します。“OFF”が表示されると15秒後に自動的にOFFになります。冷却室の乾燥が終了するとディスプレイの右下に赤い点が見えます。

又は、モードスイッチ⑭が押されてから15秒以内に ENTER スイッチ⑯を押しても OFF にすることが出来ます。同じく OFF になると赤色の点表示だけになります。



- DMX 信号を切ると、“OFF”表示になり、自動的に15秒後に電源が切れます。

## 6. メンテナンスとお手入れ方法

- 通気孔⑤がホコリで詰まっていないか確認してください。必要であればホコリを取り除いてください。
- マシンがオーバーヒートしないように注意してください。
- ポンプが枯渇するので、液がない状態で運転させないでください。
- フルードをこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。  
湿気（フルード）はマシンの電子部品を損傷させます。
- フルードフィルター⑪（P7）を定期的に掃除し、必要があれば清掃・交換してください。補充よりも、常に新しい液ボトルに交換することをお勧めします。新しい専用液に交換する際は、残った液を取り除いてから行ってください。こうすることによって機材の詰まりが少なくなります。
- Viper nt を設置するときには、常に通気性が良い場所であるか確認してください。たとえば、クラブ・ディスコ等で長時間使用する場合、高濃度フォグを伴う冷たい空気によりマシン内部に損傷を与える恐れがあります。
- 本体ボディーは、中性洗剤を使用してクリーニングしてください。
- **注意：**当社の気化器はクリーニングの必要はありません！  
市販のクリーナーの使用は気化器にダメージを与えます。その場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 7. トラブルシューティング

- 煙が出ない
  - 外部の制御信号を確認してください
  - 電源を確認してください。
  - 液量を確認してください。（空ではありませんか？）
  - 液ボトルに正しくチューブがつながっているか確認してください。
  - 液チューブに液が入っているか確認してください。
  - フルードフィルターが詰まっていないか確認してください。
  - マシンのポンプ設定が1以下か確認してください。
- 発煙がコントロールできない
  - 電源を確認してください。
  - 湿気がないか確認してください。  
（特に基板に湿気が多いと誤作動の原因になります）
- スモークマシンの電源が突然切れてしまった
  - オーバーヒートが原因で、サーモスタットがOFFになった場合、マシン周辺の熱の原因（照明など）を取り除いて、新鮮な空気と換気してください。15分～30分で再び操作出来るようになります。
- 発煙時に異音が出る
  - ポンプに液が通っていない（これは絶対に避けてください）
  - 専用液をボトルに入れてください。（ボトルの交換をお勧めします）
  - フルードチューブと液ボトルの接続を確認してください。
- “E-4” がLED ディスプレイに表示された
  - マシンが非常に熱くなっています。  
解決方法：  
電源ケーブルをいったん抜いてクールダウンし、暫くしてから電源ケーブルを再接続してください。
- “E-1” がLED ディスプレイに表示された
  - 販売店に送り返して修理を依頼してください。

E	-	4
---	---	---

E	-	1
---	---	---



## 8. 仕様

形式:	気化式フォグジェネレーター
消費電力:	900W
電圧:	100V 50/60 Hz
液消費量:	最大発煙時 228 ml/min 連続発煙時 30 ml/min
液ボトル容量:	5リットル
発煙量:	1%単位で1～99%まで
発煙出力:	最大 15 m
発煙時間:	100% 出力時 約 40 秒 50% 以下出力時 連続発煙
コントロール:	DMX 512 0 - 10 V アナログ タイマー スタンドアロンモード
ウォームアップ時間:	約 14 分 (AC100V 入力時)
温度制御:	マイクロプロセッサコントロール
オーバーヒート保護機能:	ヒーターブロック / サーモスタット ポンプ / サーマルスイッチ
寸法 (L x W x H):	45.2 x 23 x 23.5 cm
本体重量:	13.6kg (液ボトル含む)
日本代理店:	有限会社プロバイド

## 9. 保証内容

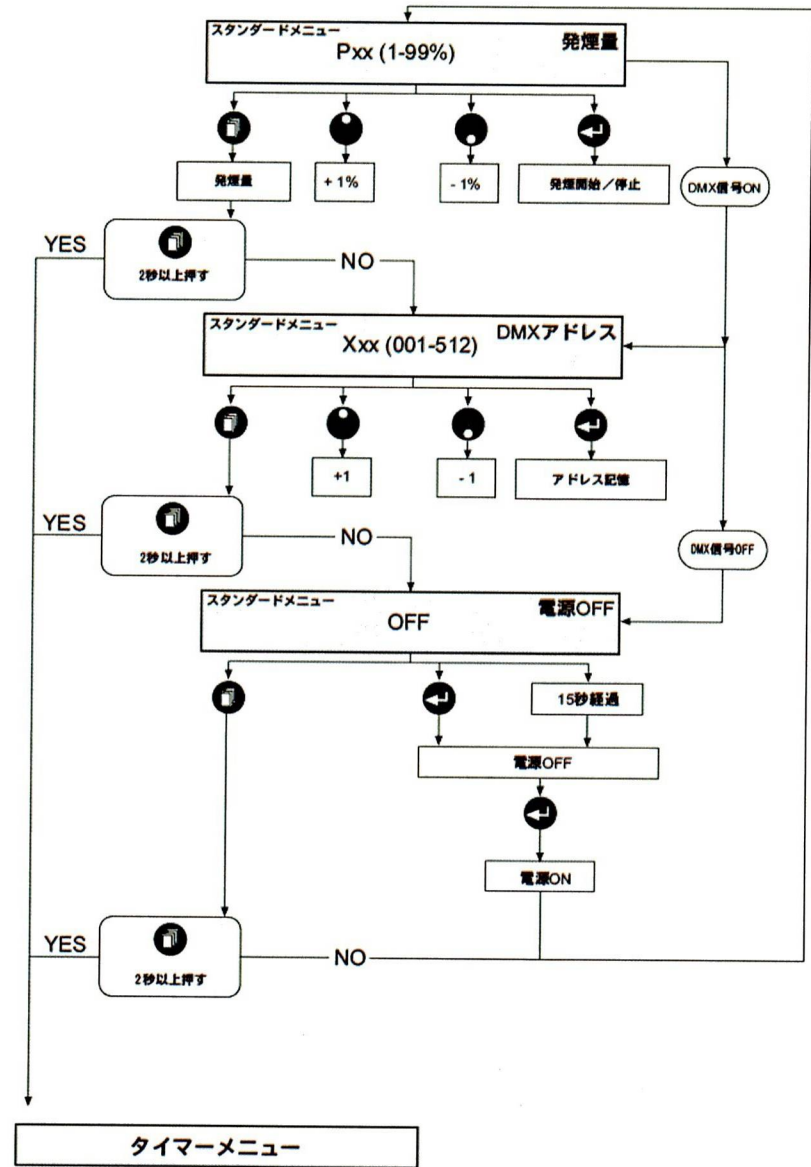
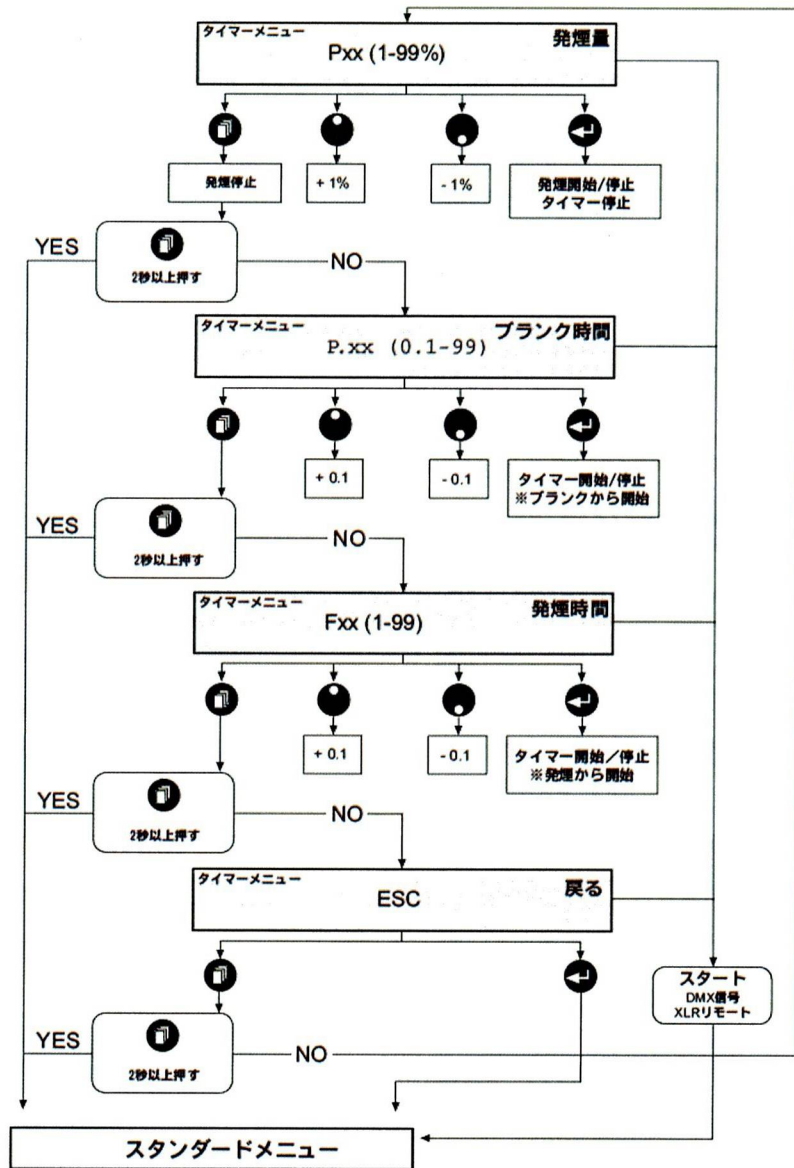
この度は、Vipernt をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、下記の保証事項に従って故障箇所の修理をさせていただきます。

- 保証期間内に取扱説明書に従って正常なご使用状態の下で保証期間内に故障した場合、無償にて故障箇所の修理をさせていただきます。
- 次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。
  - 火災、地震、水害、落雷、天変地異および異常電圧などによる故障および損傷。
  - お買い上げ後の輸送、移送時の落下等お取り扱いが不適切な為に生じた故障及び損傷。
  - 説明書に記載の使用法又は、注意に反するお取り扱いにより生じた故障及び損傷。
  - 改造又は、ご使用の責任に帰すと認められた故障及び損傷。
  - 接続している他の機器に起因して、本製品に故障を生じた場合。
  - 部品や付属品などの自然消耗によるもの。
  - 当社以外で修理・調整・改良された場合。
- 相性等の問題により本製品がご利用頂けない場合は、保証対象外とさせていただきます。(本製品とライティングコンソール接続時等)
- 修理を依頼する場合は、当社指定の方法又は販売店にご相談ください。  
輸送される場合の梱包費用および送料は、ご購入者さまのご負担となります。
- 修理、初期不良対応等を依頼される際、当社の検査の結果不良が認められない場合や上記②、③に該当する場合は、別途診断手数料及び送料を申し受ける場合があります。
- 本製品の故障又はその使用上生じた損害についての当社の責任は、修理に限定させて頂き、それ以外の責任は負いません。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

### 保証書

製品名	VIPER-NT
シリアル	
保証期間	お買上日から12ヶ月間
お買上日	平成 年 月 日
お客様	ご住所
	お名前
販売店名	

有限会社プロバイド 東京都調布市深大寺南町5丁目57番地2



平成 18 年 7 月 18 日

危険物データベース登録確認書

危険物保安技術協会



1	登録番号	9994X012889			
2	登録物品名	QUICK FOG FLUID			
3	登録者名	有限会社 フロバイド			
4	類・品名・性質	非危険物			
5	状態	液体	6	引火点	

平成 18 年 7 月 18 日

危険物データベース登録確認書

危険物保安技術協会



1	登録番号	9994X012890			
2	登録物品名	Regular Fog Fluid			
3	登録者名	有限会社 フロバイド			
4	類・品名・性質	非危険物			
5	状態	液体	6	引火点	

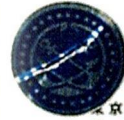
平成 18 年 7 月 18 日

危険物データ登録確認書



危険物保安技術協会

1 登録番号	9994X012891	6 引火点	
2 登録物品名	Slow Fog Fluid	液体	
3 登録者名	有限会社 プロバイド		
4 類・品名・性質	非危険物		
5 状態			



社団法人 日本海事検定協会  
法人 日本政府公認

本部  
東京都中央区八丁通1丁目9番7号  
電話 大代表 東京(03)3552-0141  
ファクシミリ 東京(03)3553-0633  
ホームページ http://www.nkkk.or.jp/



事業所  
全国各主要港

理化学分析センター  
横浜市金沢区福浦2-7-31  
電話 横浜 (045) 781-6661  
FAX 横浜 (045) 781-6715

大阪理化学分析センター  
大阪市住之江区南港中6-2-47  
電話 大阪 (06) 6612-1777  
FAX 大阪 (06) 6612-0857



消防法危険物確認試験報告書

平成 19 年 2 月 16 日  
報告書 No. Y2329.3/06

有限会社プロバイド殿より提供された検体について、消防法危険物確認試験に基づき下記の試験を行ったので、ここに報告する。

- 委嘱者名: 有限会社プロバイド
- 試料の名称: QUICK FOG FLUID
- 状態: 液状
- 試験内容:
  - 試験の名称: 消防法危険物第四類確認試験
  - 試験実施場所: 社団法人 日本海事検定協会 理化学分析センター
  - 試験実施期間: 平成 19 年 2 月
- 試験結果:

試験項目		試験結果	
第四類 確認試験	液状確認	20℃で液状である	
	引火点	タグ密閉式	85.0℃以上
		クリーブランド開放式	引火せず
	動粘度	—	
	発火点	—	
	燃焼点	—	
沸点	—		

6. 所見

上記試験の結果から、検体「QUICK FOG FLUID」は、消防法においては、非危険物に相当するものと判断された。

上記の通り報告する。  
[理横 第 6469 号]

社団法人 日本海事検定協会

理化学分析センター

センター長 鈴木 勝



この証明書は偽造防止措置が施されており、記載内容に異議のある場合はOriginal Reportでご確認ください。  
この検査は、日本適合性認定協会 (JAS) により認定された (財) 日本海事検定協会品質システム審査登録 (QualitySR) によって、ISO9001/1329001 への適合が登録されている品質マネジメントシステムの下で実施された。



社団法人 日本海事検定協会  
日本 政府 公 認

本部  
東京都中央区八丁堀1丁目9番7号  
電話 大代表 東京(03)3552-0141  
ファクシミリ 東京(03)3553-0833  
ホームページ http://www.nkkk.or.jp/



事業所  
全国各主要港

理化学分析センター  
横浜市金沢区福浦2-7-31  
電話 横浜 (045) 781-6661  
FAX 横浜 (045) 781-6715

大阪理化学分析センター  
大阪市住之江区南港中6-2-47  
電話 大阪 (06) 6612-1777  
FAX 大阪 (06) 6612-0857

横浜  
平成19年2月16日  
報告書 No. Y2329.2/06

消防法危険物確認試験報告書

正本  
(Ref. KO)

有限会社プロバイド殿より提供された検体について、消防法危険物確認試験に基づき下記の試験を行ったので、ここに報告する。

1. 委嘱者名: 有限会社プロバイド
2. 試料の名称: REGULAR FOG FLUID
3. 状態: 液状
4. 試験内容:
  - (1) 試験の名称 消防法危険物第四類確認試験
  - (2) 試験実施場所 社団法人 日本海事検定協会 理化学分析センター
  - (3) 試験実施期間 平成19年2月

5. 試験結果:

試験項目		試験結果	
第四類 確認試験	液状確認	20℃で液状である	
	引火点	タグ密閉式	85.0℃以上
		クリーブランド開放式	引火せず
	動粘度	—	
	発火点	—	
	燃焼点	—	
	沸点	—	

6. 所見

上記試験の結果から、検体「REGULAR FOG FLUID」は、消防法においては、非危険物に相当するものと判断された。

上記の通り報告する。  
[理横 第6469号]

社団法人 日本海事検定協会  
理化学分析センター  
センター長 鈴木 勝



この証明書は偽造防止措置が施されており、記載内容に疑義のある場合はOriginal Reportでご確認ください。  
この報告は、日本適合性認定協会（JAB）により認定された（財）日本海事協会品質システム審査機構（QualityNet）によって、ISO9000/JISQ9000への適合が登録されている品質マネジメントシステムの下で実施された。



社団法人 日本海事検定協会  
日本 政府 公 認

本部  
東京都中央区八丁堀1丁目9番7号  
電話 大代表 東京(03)3552-0141  
ファクシミリ 東京(03)3553-0833  
ホームページ http://www.nkkk.or.jp/



事業所  
全国各主要港

理化学分析センター  
横浜市金沢区福浦2-7-31  
電話 横浜 (045) 781-6661  
FAX 横浜 (045) 781-6715

大阪理化学分析センター  
大阪市住之江区南港中6-2-47  
電話 大阪 (06) 6612-1777  
FAX 大阪 (06) 6612-0857

横浜  
平成19年2月16日  
報告書 No. Y2329.1/06

消防法危険物確認試験報告書

正本  
(Ref. KO)

有限会社プロバイド殿より提供された検体について、消防法危険物確認試験に基づき下記の試験を行ったので、ここに報告する。

1. 委嘱者名: 有限会社プロバイド
2. 試料の名称: SLOW FOG FLUID
3. 状態: 液状
4. 試験内容:
  - (1) 試験の名称 消防法危険物第四類確認試験
  - (2) 試験実施場所 社団法人 日本海事検定協会 理化学分析センター
  - (3) 試験実施期間 平成19年2月

5. 試験結果:

試験項目		試験結果	
第四類 確認試験	液状確認	20℃で液状である	
	引火点	タグ密閉式	85.0℃以上
		クリーブランド開放式	引火せず
	動粘度	—	
	発火点	—	
	燃焼点	—	
	沸点	—	

6. 所見

上記試験の結果から、検体「SLOW FOG FLUID」は、消防法においては、非危険物に相当するものと判断された。

上記の通り報告する。  
[理横 第6469号]

社団法人 日本海事検定協会  
理化学分析センター  
センター長 鈴木 勝



この証明書は偽造防止措置が施されており、記載内容に疑義のある場合はOriginal Reportでご確認ください。  
この報告は、日本適合性認定協会（JAB）により認定された（財）日本海事協会品質システム審査機構（QualityNet）によって、ISO9000/JISQ9000への適合が登録されている品質マネジメントシステムの下で実施された。